

6 軒天

6-6 納まり詳細図

3) 軒天12(軒天換気金物KBM1J2)標準施工法 QF030RS-0157

30分準耐火構造適合品／品番:KBM1J2 認定番号 軒裏:QF030RS-0157
 ※KBM1は非耐火火仕様品です。30分準耐火構造ではKBM1J2をご使用ください。
 ※軒天12以外の軒天材には認定が使用できません。
 ※軒天換気金物本体に塗装を施した場合は認定が適用できません。

●下地組みは、

野縁梯子組:軒の出方向は500mm以下、幅方向は455mm以下の間隔で野縁(幅:30×高さ:40mm以上)を組みます。

軒天材の左右接合部は野縁2本組みとします。

軒の出が500mmを超える場合、軒の出@500mm以下に吊り木(吊り木@1000mm以下)で吊ります。

●下地の不陸は3mm以下に調整します。

※ボルト頭や下地組みの不陸・ねじれなどは仕上がりに影響するばかりでなく、無理な施工から軒天材の破損をまねくおそれがあります。

●軒天材の切断はオールダイヤモンドチップソーを使用します。

●軒天材の留め付けは専用釘(ステンレスリング釘φ2.3mm×38mm)を用い、

野縁梯子組:軒天換気金物部を除き、軒の幅方向・出方向ともに225mm以下の間隔で留め付けます。

●軒天材端部の釘打ち位置は端あき20～35mmとします。

●軒天換気金物の取り付けには同梱の専用ビスを使用します。

●軒天換気金物が納まる部分は軒天材の下実を落とします。

●軒天換気金物を2本以上並べて取り付ける場合はエンドキャップを取り外します。

●軒天材の吹き付け塗装を行う場合、養生シートにビスが通る程度の切り込みを入れ、専用ビスで本体を野縁に取り付けます。取り付け後、養生シートの切り込みをテープでふさぎ、吹き付け塗装後、養生シートを剥がします。

※塩害のおそれのある場所(海岸から5km以内)では、錆が発生する場合があります。

※片流れ屋根の水上側など、逆勾配の軒天への使用はしないでください。

軒の出が500mm以下の場合

軒の出が500～1000mm以下の場合

